

科目名		情報系資格対策講座 4							年度	2025
英語科目名		Information system Certification Exams 4							学期	後期
学科・学年		情報処理科 2 年次	必／選	必	時間数	60	単位数	4	種別※	講義
担当教員		小高、齋藤	教員の実務経験		有	実務経験の職種		システムエンジニア（小高）、プログラマ（齋藤）		
【科目の目的】 情報処理技術者試験に合格することを目指す。										
【科目の概要】 情報処理技術者試験、ベンダー資格などの各種検定試験対策を行う。										
【到達目標】 情報処理技術者試験に合格することを目指す。経営を取り巻く外部環境を正確に捉えるための動向や事例を知ることが合格水準であり、合格すると企業就職後の即戦力、中核的人材となる素質をもつことを証明できる。システム開発においては設計～運用・保守において上位者の方針を理解し、自ら技術的問題を解決できるようなワンランク上のITエンジニアになることが目標である。「情報系資格対策講座3」で目標にした資格に合格した場合は、さらに上位の資格取得を目指す。										
【授業の注意点】 資格試験は、講義時間内の学習だけでは合格困難であり、学生自身が主体的に自宅学習を進めることが肝要である。授業中の私語や受講態度などには厳しく対応をする。理由の無い遅刻や欠席は認めない。講義に出席するだけでなく、社会への移行を前提とした受講マナーを守ることを求める。（詳しくは、最初の授業で説明。）授業時数の4分の3以上出席しない者は定期試験を受験することができない。										
評価基準＝ルーブリック										
ルーブリック 評価	レベル5 優れている	レベル4 よい	レベル3 ふつう	レベル2 あと少し	レベル1 要努力					
到達目標 A	データ構造の基礎知識を説明できる	データ構造の基礎知識を理解することができる	データ構造の基礎知識を概ね理解することができる	データ構造の基礎知識をあまり理解できない	データ構造の基礎知識を全く理解できない					
到達目標 B	アルゴリズムの基礎知識を説明できる	アルゴリズムの基礎知識を理解することができる	アルゴリズムの基礎知識を概ね理解することができる	アルゴリズムの基礎知識をあまり理解できない	アルゴリズムの基礎知識を全く理解できない					
到達目標 C	擬似言語の基礎知識を説明できる	擬似言語の基礎知識を理解することができる	擬似言語の基礎知識を概ね理解することができる	擬似言語の基礎知識をあまり理解できない	擬似言語の基礎知識を全く理解できない					
到達目標 D	プログラミング技術または表計算の基礎知識を説明できる	プログラミング技術または表計算の基礎知識を理解することができる	プログラミング技術または表計算の基礎知識を概ね理解することができる	プログラミング技術または表計算の基礎知識をあまり理解できない	プログラミング技術または表計算の基礎知識を全く理解できない					
到達目標 E	情報処理技術者試験に合格できる	情報処理技術者試験の点数が60％以上	情報処理技術者試験の点数が50％以上	情報処理技術者試験の点数が40％以上	情報処理技術者試験の点数が30％未満					
【教科書】 なし										
【参考資料】 過去問題など										
【成績の評価方法・評価基準】 過去問題や課題、理解度確認の小テストを総合的に評価する。授業参加度、授業態度も評価に含まれる。										
※種別は講義、実習、演習のいずれかを記入。										

